

授業科目名 <英訳>	考古学(特殊講義) Archaeology (Special Lectures)				担当者所属・ 職名・氏名	人文科学研究所 教授 岡村 秀典					
配当 学年	1回生以上	単位数	2	開講年度・ 開講期	2015・ 前期	曜時限	月2	授業 形態	特殊講義	使用 言語	日本語
題目	漢鏡研究法										
【授業の概要・目的】											
この講義の目的は、中国考古学の基礎的な方法論について漢代の銅鏡を対象に提示するものである。宋代以来の一千年におよぶ鏡の研究史をふりかえりつつ、考古学と美術史学の研究方法、文献学と金石学の研究方法、考古学の型式学的研究方法、図像や銘文の研究法、鏡にたいする観念、銅鏡の鑄造方法、銅鏡の理化学的分析などをめぐる研究の現状を論じる。											
【到達目標】											
漢代の銅鏡は、日本の弥生・古墳時代の遺跡（墳墓を含む）から多数出土するため、広く東アジア的視点から倭国の形成史が俯瞰できるようになる。											
【授業計画と内容】											
宋代以来一千年におよぶ古鏡の研究史を回顧し、以下の内容について講述する。 古鏡研究一千年 中国・日本・欧米におけるパラダイム 鏡にたいする観念 銅鏡の鑄造方法 銅鏡の理化学的分析 型式学とその問題点 考古学と美術史学の研究方法 銘文の研究法 考古学と文献学の研究方法 図像の研究法 分布論とその問題点 作家論の構築 人文学的研究法の展望											
【履修要件】											
特になし											
【成績評価の方法・観点及び達成度】											
定期試験（筆記）											
【教科書】											
使用しない											
【参考書等】											
（参考書）											
【授業外学習（予習・復習）等】											
日頃から博物館に陳列されている鏡をみておくこと。また、歴史だけでなく、思想文化にも関心をもち、異文化に対する理解を深めておくこと。											
（その他（オフィスアワー等））											
オフィスアワー実施の有無は、KULASISで確認してください。											